

## 凡 例

- 1、本資料は歴代宝案編集参考資料として、『歴代宝案』訳注本第1冊（第1集巻1～22）・2冊（第1集巻23～43）〔沖縄県教育委員会刊行〕の語注を、事務局で一覧表にまとめたものである。
- 2、本資料は元来事務局での作業用にパソコン処理をして作成したものである。そのため機械にない文字等は●（部首＋つくり等）にして適宜処理した。
- 3、訳注本で語注を付した語句は総数 7,078件である。うち、引用された文書の始めと終りを示すだけの注などを除き、5,200件（語句 4,316件、人名・地名 884件）を抽出した。
- 4、配列は①語句（1頁～）、②人名・地名（175頁～）の順とし、それぞれ総画数－部首別、に並べた。これは訳注本第2冊に収録した「語注索引」に準じるものであるが、機械的な処理を施したため、必ずしも一致しない所がある。
- 5、項目は、総画数、語彙、意味、種類（語句、人名・地名）、集、巻（巻番号）、号（文書番号）、注（注番号）、用（用語解説にあるものは○印を付した）、冊数、頁数である。なお集－巻－号の欄が「0」のものは序文の語注である。
- 6、意味の欄の参考資料の略称については、訳注本第1冊・2冊の「参考文献」を参照。

1999年3月1日

(財)沖縄県文化振興会公文書館管理部  
史料編集室